

和歌山ろうさい病院広報誌

わろうて

わかやまろうさい病院からのおてがみ

和歌山ろうさい病院
副院長 中谷 如希

夏本番を迎え、どこまで暑くなるのかと心配な今日この頃ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

いよいよ、2024年4月から医師の働き方改革が始まりました。

2019年4月から多くの業種で時間外労働の上限が設けられましたが、医師においてはその勤務形態の特殊性を考慮して、上限規制の適用が猶予されていました。

医師法19条には、「診療に従事する医師は、診察治療の求めがあった場合には、正当な事由がなければ、これを拒んではならない」と定められており、何時であっても患者の求めがあれば、必ず対応しなければならないという教育を受けた医師は、使命感を持って働き続けてきました。しかし、この応召義務が定められたのは、昭和23年であり、医療を取り巻く環境が大きく変わった現在では、時代にあわないものになっています。医師の過労死が問題となっている現状を鑑み、医師の時間外労働の上限も規制されることになりました。

しかしながら、もともと人手が不足している医療現場で、時間外労働を制限すると、更に人手が足りなくなるのは当然の結果です。以前のまま業務をしていると、患者の受け入れや手術を制限しなければならなくなってしまいます。そこで、和歌山労災病院では、1年以上前から診療部門、職種ごとに、いかにして超過勤務を減らすかを検討してきました。

私が担当している整形外科では8人の医師が所属しており、外来・入院患者の診察、手術、検査、症例検討、救急対応などに加えて宿直などの業務をこなしています。今のところは、術前に手術の方法を詳細に検討し、医師2人が一組になって最大4件の手術を同時に行うことで、医療の質を落とさずに労働時間を抑えることができています。しかし、新型コロナウイルスの蔓延で、1000件程度まで少なくなった手術が再び増加する傾向にあります。医師の増員は期待できないため、今後は多職種とのタスクシェア・タスクシフトを行い、周辺の医療機関との連携をいっそう深めていきたいと思っています。さらに、一人の医師が一人の患者を担当する主治医制度を見直し、複数の医師がグループで治療に当たるシステムに変更せざるをえないと考えています。

これからも、和歌山労災病院は、地域の皆さまや、連携機関の先生方から信頼していただけるように、安全・安心な医療の提供を目指してまいりますので、ご支援、ご指導をお願い申し上げます。

日本医療機能評価機構認定病院
地域医療支援病院

独立行政法人労働者健康安全機構

和歌山ろうさい病院

〒640-8505 和歌山県和歌山市木ノ本93番1

TEL.073-451-3181 (代) FAX.073-452-7171 (代)・073-451-3788 (地域連携室専用FAX)

E-mail.soumu@wakayamah.johas.go.jp URL.https://www.wakayamah.johas.go.jp/

和歌山ろうさい病院理念

地域の人々と勤労者に、地域医療機関と密接に連携しつつ、安全に十分配慮した最適な医療を提供する。

健康診断部の紹介

健康診断部長 中 啓吾

健康診断部では、各種健康診断と人間ドックを実施しています。

病院での医療は、症状のある方への診断、治療が主な目的ですが、健康診断部では、定期健診による健康状態の確認や人間ドックによるがんや動脈硬化症(脳梗塞、心筋梗塞、その他)の早期診断など、自覚症状のない段階での病気の兆候を見つけるのが主な役割です。

いまや人生100年時代、「平均寿命」よりも元気で過ごせる「健康寿命」が注目されています。そのためには病気が明らかになる前から健康状態を確認し、早期発見、重症化予防が大切です。

まず健康診断(健診)では、これからの一年を安心して過ごすために自身が健康であることを確認することが目的です。利用のポイントは、過去の検査値の経過(経年変化)を見て現在までの自分の身体の変化を確認してください。1つずつの異常だけでなく肥満・高血圧・脂質異常・糖尿病などの動脈硬化の危険因子がいくつ重複していないかチェックしてください。結果が悪くなってきた方はその原因を生活習慣から振り返り改善し、また逆に改善した人は自身の努力の効果が確認できますので、生活習慣を見直す機会を増やしていきましょう。ただし健診では特定の臓器だけを詳しくは検査をできませんので、そのためには人間ドックが重要となってきます。

人間ドックでは、一般健診以上の広範囲で詳細な検査で全身を調べることで病気の早期発見や前兆となる異常を見つけ、早期治療や予防につなげることができます。個別に受けていた多くの検査をまとめて受けられる点が特徴で、忙しい方には週末ドックも用意しています。特定部位を重点的に検査できる「肝臓ドック」、「心臓ドック」、「脳ドック」、「大腸ドック」、「レディースドック」では、初期の段階ではわからない(自覚症状が出る頃には病状が進行していることもある)「がん」「慢性肝疾患」「心疾患」「脳卒中」などの病気の早期発見につながります。自身の受たい検査を自由に選び、追加(オプション検査)して受けることも可能です。そして検査結果で気になることがあれば、対面で健康改善のためのアドバイスを受れたり、また病気が疑われれば速やかに当院で二次検査や治療を受けていただけます。

現在通院中の方も普段みてもらっている病気以外の全身の健康状態を詳しく知る機会となります。また、あまり病院に行く必要がなく健康に自信がある方も人間ドックを受けることで今まで気づかなかったことが明らかとなる可能性があります。

健康を守り早期発見・早期治療につながる健診と人間ドック、ぜひ定期的な受診を検討してみてください。



健康診断部のご案内↓



ME センターの紹介

病院では、多くの医療機器が検査・治療に使用されています。医療機器を安心安全に使用するために、日々のメンテナンスや定期点検が必要です。MEセンターでは、これら医療機器の保守点検や管理を行っています。

MEセンターには、医療機器のスペシャリストである臨床工学技士（CE：Clinical Engineer）が4名勤務しています。

当院のMEセンターでは、医療機器の中央管理を行っています。管理している医療機器には、輸液ポンプ、シリンジポンプ、除細動器、人工呼吸器、低圧持続吸引器、深部静脈血栓予防装置などがあります。これらの医療機器の貸出し、点検履歴、故障履歴を把握しています。

使用された医療機器をMEセンターで始業点検を行い、異常がないことを確認してから次の診療に使用しています。定期点検では、専用測定機を用い、流量や出力測定、バッテリー動作を確認しています。

MEセンターでは、循環器内科、脳神経外科、肝臓内科などで診療補助にも携わっています。循環器内科では、心臓カテーテル検査・治療の介助に中央検査部の臨床検査技師と携わっています。カテーテルなどの準備や管理、ポリグラフの操作、術中の患者観察、IVUS（血管内超音波装置）やIABP（大動脈バルーンポンピング）、PCPS（経皮的心肺補助装置）の操作を行っています。ペースメーカーやICM（植込み型心電計）の埋込術介助と外来フォローアップ、遠隔モニタリングの管理、電気メスの使用時やMRI検査時のペースメーカーの設定変更も行っていきます。

脳神経外科では、CAS（頸動脈ステント留置術）、閉塞テストの介助、肝臓内科では、MCT（マイクロ波凝固療法）、RFA（ラジオ波焼灼療法）の介助を行っています。

人工呼吸療法業務として、呼吸器を患者様の体格に対して適切な設定を医師に提案し、患者状態の変化に気づくためのアラーム設定、人工呼吸器の使用チェックを行っています。

また、医療安全の教育として、医療機器安全研修を行っており、人工呼吸器や酸素療法の原理と機器の操作方法を医療機器メーカーと協力して院内研修を実施しています。

患者様に安心・安全・安楽で良質な医療を提供できるように、医療従事者の一員として努力していきたいと考えています。今後ともMEセンターに対するご指導、ご協力よろしくお願い致します。



和歌山ろうさい病院地下水汲み上げ 浄化センター竣工式について

令和6年5月7日に「地下水汲み上げ浄化センター(以下、同センター)」の竣工式が行われました。

同センターの竣工式に関係者およそ60名が出席し、南條輝志男病院長の挨拶に続いて、関係者がテープカットをして、完成を祝いました。

当院は、平成24年3月に和歌山県から災害拠点病院の指定を受け、和歌山市の紀の川以北の拠点として災害に備えた体制整備を進めてきました。

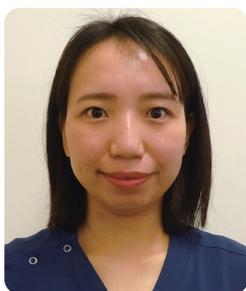
令和3年に和歌山市の紀の川にある水道を通す橋である「水管橋」の一部が崩落した際には、大規模な診療制限は避けられたものの、紀の川の北側のほとんどの地域で断水が発生しました。このような課題を踏まえ、昨年10月から同センターの工事を進め、今年3月に完成されました。

敷地内に整備した同センターは、広さおよそ100平方メートルで、汲み上げた地下水を飲料水としても利用できるように過し、医療用水を確保します。1時間あたりの給水量は13トンと、これまでの給水能力のおよそ4倍に増加、被災時には医療用水としてだけでなく、飲料水として使用することも可能となっています。

災害拠点病院として今後起こりうる様々な災害に備え、同センターを活用していく予定となっています。



令和6年5月 新任医師紹介



さとう
佐藤 あゆみ 先生

産婦人科医師

5月より産婦人科に赴任しました。今後ともよろしくお願ひ致します。



「かかりつけ医」のご紹介

和歌山ろうさい病院との「病診連携システム」に参加されている「かかりつけ医」の先生方をシリーズでご紹介しています。

医療法人誠人会 与田病院附属ふじと台クリニック

診療科目 内科・健康診断／糖尿病内科／内分泌内科／呼吸器内科／消化器内科／小児科

住所 〒640-8454 和歌山県和歌山市ふじと台6

Estacionふじと台駅前ビル東棟4階E406

電話 073-499-8801



よだ こういちろう たけのり
与田 紘一郎 院長先生・武徳先生



医療法人誠人会 与田病院附属ふじと台クリニックは「早期に治療を始めることで、ふじと台や地域に住む皆様が10年後、20年後も健康で暮らせるように」という先生の思いのもと、平成27年6月1日に開設されました。

生活習慣病を専門とされている先生は診察で体組成計を活用されており、体重だけでなく、筋肉量や体脂肪量などの結果も参照しながら日々の診察を行われています。また、患者様の生活環境に則した実践可能なアドバイスを行うことを大切にされており、心身の症状を気軽に相談できるクリニックをモットーとして一次診療を行われています。

小児科医（常勤）と併診し、在宅診療も行うことで、子どもから大人まで幅広い年齢層の患者様が来院されています。

和歌山ろうさい病院が今後も地域医療を提供し続ける上で、欠かすことのできない重要な連携協力医療機関（パートナー）です。

	月	火	水	木	金	土	日
医療法人 誠人会 与田病院 附属 ふじと台 クリニック 診療時間							
内科：与田・東先生 (9:00～13:15)	○	○	○	○	○	○	休
小児科：大元先生 (9:00～13:00)	○	○	○	○	○	○	休
内科：与田・東先生 (16:00～19:45)	○	18時 まで	※	○	18時 まで	休	休
小児科：大元先生 (15:00～19:00)	○	休	○	○	○	休	休

※「水曜日午後」、「土曜日の内視鏡外来（与田武徳先生）」は電話でお問い合わせの上、ご来院ください 休診日：日・祝

和歌山ろうさい病院 (外来診療科担当医一覧表) 令和6年7月1日現在

診療科	ブロック	診察室	月	火	水	木	金	手術日
内科	A	①番	中 啓吾	若崎 久生	中尾 隆太郎	若崎 久生	中 啓吾	-
		②番	三長 敬昌	中尾 隆太郎	味村 彩美	三長 敬昌	丸山 古奈	
		⑦番	大伴 裕美子(午前) (腎臓内科)	南條 輝志男 【第2週休診】	-	-	北 浩光 (腎臓内科)	
		⑩番	-	-	-	-	リウマチ・膠原病内科診 (午後) 第1・3週 西川 太郎	
		⑪番	-	-	リウマチ・膠原病内科診 第1・3・5週 岩田 慈 第2・4 西川 太郎	-	-	
脳神経内科	A	⑪番	榎皮谷 泰寛	(午前)小代 麻由	休診	榎皮谷 泰寛	榎皮谷 泰寛	-
		⑭番	-	(午後)榎谷 潤子				
血液内科	A	⑩番	阪口 臨	休診	阪口 臨	休診	休診	-
呼吸器内科	A	⑤番	前部屋 賢	庄野 剛史	庄野 剛史	-	休診	-
		⑥番	辰田 仁美	-	前部屋 賢	辰田 仁美		
消化器内科	B	①番	当番医	江守 智哉	深津 和弘	江守 智哉	内視鏡センター診	-
		②番	与田 武徳	岡本 智彰	大西 紀幸	垣本 哲宏	深津 和弘 坪田 悠佑	
肝臓内科	B	⑬番	玉井 秀幸	岡村 順平	玉井 秀幸	玉井 秀幸	玉井 秀幸	-
循環器内科	A	⑤番	小川 真未	小向 賢一	林 泰	林 泰	山本 康徳	火・木
		⑨番	西大塚 俊幹	-	山本 康徳	-	小向 賢一	
小児科	C	⑨番	上田 美奈	当番医	田中 侑	小森 有紀	上田 美奈	-
		⑩番	西川 香瑠	当番医	西川 香瑠	田中 侑	小森 有紀	
		特診⑨	小森 有紀	上田【予防接種】	田中 侑	上田 美奈	【第1週目】神経・発達 前田 真範 【第4週目】神経・発達 篠崎 浩平	
		特診⑩	田中 侑	-	西川 香瑠	小森 有紀	心臓外来 土橋 智弥	
外科	B	⑦番	山本 基	岩橋 誠	宮澤 基樹	岩橋 誠	山本 基	月・火・水・木・金
		⑧番	桐山 茂久	福田 直城	桐山 茂久	福田 直城	宮澤 基樹	
		⑨番	-	吉村 知紘	-	-	-	
		⑩番	-	-	-	ストーマ外来(予約制)	-	
整形外科	B	③番	中谷 如希	脊椎センター診 麻殖生 和博	手外科診 峠 康	中谷 如希	岩田 勝栄	月・火・水・木・金
		④番	峠 康	岩田 勝栄	瀧口 登	スポーツ整形診 麻殖生 和博	野中 研人	
		⑤番	当番医【紹介新患診】	瀧口 登	平 一裕	大西 麻紀子	平 一裕	
		⑥番	当番医【紹介新患診】	当番医【紹介新患診】	当番医【紹介新患診】	当番医【紹介新患診】	当番医【紹介新患診】	
		⑨番	野中 研人	-	-	-	-	
脳神経外科	A	⑫番	【第1週目】 寺田 友昭 【第2週目以降】 岡田 秀雄	林 宣秀	岡田 秀雄	当番医	林 宣秀	火・木
		⑬番	金高 由佳	第1・3週 小山 佳輝 第2・4週 川口 匠	金高 由佳	-	川口 匠	
		⑭番	当番医	-	当番医	-	小山 佳輝	
		救急特掲	当番医	当番医	当番医	当番医		
呼吸器・乳癌外科	A	③番	玉藤 剛司 (乳癌外来)	内藤 古真 (乳癌外来)	内藤 古真 (乳癌外来)	内藤 古真 (乳癌外来)	内藤 古真 (乳癌外来)	月
皮膚科	D	①番	下松 達哉	休診	下松 達哉	風呂谷 亜美	下松 達哉	火
		②番	平田 一希		風呂谷 亜美	平田 一希	【第1・3・5週】風呂谷 【第2・4週】平田	
泌尿器科	C	①番	鈴木 淳史	出口 龍良	休診	鈴木 淳史	当番医	水・金
産婦人科	D	②番	出口 龍良	丸山 容平	助産外来(予約制)	佐藤 あゆみ	丸山 容平	火・木
		⑩番	竹中 由夏	助産外来(予約制)	佐藤 あゆみ	助産外来(予約制)	竹中 由夏	
		⑫番	矢本 希夫	当番医	矢本 希夫	当番医	当番医	
		⑬番	谷本 敏	-	竹中 由夏	谷本 敏	佐藤 あゆみ	
眼 科	D	⑤番	坂東 肇 (午前)	佐々木 秀一朗 (午前)	佐々木 秀一朗	佐々木 秀一朗 (予約制)	佐々木 秀一朗	月・木
		⑥番	安武 正治郎 (午後)	安武 正治郎 (午後)	-	-	-	
		午後予約	-	-	検査(予約制)	-	-	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	C	⑤番	森山 智美	休診	森山 智美	森山 智美	福田 祐也	火・水・金
		⑥番	福田 祐也		-	福田 祐也	【第1・3週】 頭頸部外科外来 横山 道明	
		⑦番	-		-	-	-	
リハビリテーション科	D	午後 予約	嚥下外来 福田 祐也	-	-	第2・4週 補聴器外来・当番医	嚥下外来 福田 祐也	-
		1診	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子		
		2診	当番医	-	-	-		
放射線科	D	1診	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	-
		2診	千葉 堯弘	千葉 堯弘	千葉 堯弘	千葉 堯弘		
		3診	塩谷 健	-	塩谷 健	塩谷 健		
女性専用外来 【完全予約制】	A・D	午後 (予約制) A⑦番 D⑫番	-	-	第1・2・3・4週 総合(漢方)外来 辰田 仁美 第1週 漢方外来 松本 朋子	第1週 乳腺・肛門外来 浦 希未子 第2・4週 漢方外来 神人 美穂子	第3週 乳腺外来 内藤 古真	-
専門外来	健診センター【予約制】	禁煙外来(1400~1430) 庄野 剛史	-	-	禁煙外来(1400~1430) 庄野 剛史	肥満外来(1500~1600) 中 啓吾	-	-

(注1)

- 小児科の午後は、予約者を対象に専門外来を行っています。
- 呼吸器・乳癌科の月曜日、耳鼻咽喉科・頭頸部外科の火曜日、泌尿器科の水曜日、眼科の木曜日は手術のため休診です。
- 母親教室は、毎週木曜日 14時~16時です。(予約制)
- 助産外来は、毎週火曜・木曜日 9時~15時です。(予約制)
- 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の木曜日の午後の診察時間は、13時~15時となっております。
- 糖尿病教室は、平日月曜日~金曜日に開催しております。詳細については内科外来にお問合せください。
- 女性外来・専門外来は、完全予約制となっております。
お申込みは、勤労者医療総合センター直通番号(073-451-3303)までお申込みください。
- 各診療科の専門外来については、病院代表番号(073-451-3181)を通じて各専門外来までお問合せください。
- 整形外科・当番医での予約は受け付けておりません。
- 0.前月から変更がある部分については網掛けで表示します。

(注2)

セカンドオピニオン外来の詳細については、地域医療連携室(073-451-3186)までお問合せください。

※他院からの紹介状をお持ちの際は、必ず診療予約をして頂きますようお願いいたします。
【診療予約をせずに来院されますと、担当医師が対応できない場合があります。また対応可能な場合でも、待ち時間がかなり発生いたしますので、前もっての診療予約をお願いいたします】

【予約専用電話】 073-451-3186